

戦略的機能イノベーション研究所

Centre for the Research of Emergent functions in Artifacts and Technological Enterprises

研究所の概要

1. 目的

本研究所の具体的な目的は、以下のような視点に基づく学術的知見に基づく議論を進め、そこから得られる知見を集約していくことである。

- ・産業別・製品分野別の生産物特性および生産プロセス特性
- ・国内の企業のつくり手としての強みや弱み
- ・製品による価値創造および価値獲得
- ・サービスによる価値創造および価値獲得
- ・ソリューションによる価値創造および価値獲得

2. 設置期間

2017年12月1日～2027年3月31日

3. メンバー

10名（所長を除く）

4. 活動概要

国内の製造業、サービス産業などにおいて、つくり手側の多くの企業が方向性を見失いつつあり、国際競争の中で継続的に発展していくことに不安感を持つ傾向が出てきたことは否定しきれない。しかし、そのための国内企業の活動を中心とする学術的知見の構築に関する議論は薄めであったといわざるを得ない。

本研究所の方向性としては、このような状況の中で有効性があると考えられる、学術的知見に基づく議論を進め、その蓄積に努めていくものである。



所長

吉田敏

YOSHIDA Satoshi

キーワード

Emerged Function（発生機能）、設計情報分析、人工物特性の把握感覚的価値の再現可能性

令和5（2023）年度の研究活動内容及び成果

1. 活動内容

(1) タイル製品領域のリーディングカンパニーの企業活動調査

国内のタイル製品領域で、製品売り上げシェアがトップの企業に協力して頂き、その企業の強みや弱み、その製品領域企業の特性などを、調査し、分析しているところである。内容について、令和5年度から実施しているものである。

(2) 建築仕上げ製品領域のリーディングカンパニーの企業活動調査

国内の建築仕上げ製品領域で、リーディングカンパニーと位置付けられる国内企業に協力して頂き、その企業の強みや弱み、その製品領域企業の特性などを、調査し、分析しているところである。内容については、令和5年度から実施しているものである。

2. 成果

(1) 英文査読論文誌の採択

Scopus 掲載の論文誌に採択された内容を示す。

Satoshi YOSHIDA, [A Study of the Characteristics of Regional Building Construction Process](#), The Open Construction & Building Technology Journal, 17, 2023.

令和6年度の計画

(1) タイル製品領域のリーディングカンパニーの企業活動調査

令和5年度から開始している、国内のタイル製品領域の企業に協力して頂き、その企業の強みや弱み、その製品領域企業の特性などを、調査し、分析していく。具体的には、ご担当者のヒヤリングから、工場見学。ショールーム見学などをさせて頂き、情報を収集していく。

(2) 建築仕上げ製品領域のリーディングカンパニーの企業活動調査

こちらも、令和5年度から開始しているものであり、国内の建築仕上げ製品領域の企業に協力して頂き、その企業の強みや弱み、その製品領域企業の特性などを、調査し、分析していく。具体的には、(1)と同様に、ご担当者のヒヤリングから、工場見学。ショールーム見学などをさせて頂き、情報を収集していく。